

精神障害者の生活支援システム

科目コード

CU3151



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	R or SR(講義)	2年以上	大橋 雅啓

※2018年度より担当教員が変更になりましたが、レポート課題等に変更はありません。

※2012年度以降入学者のみが受講できる科目です。

※2018年度より「RorSR」科目となり、スクーリングが開講されます。

科目の概要

■科目の内容

ここでは精神障害者の支援に関する制度と福祉サービスの知識と内容が述べられています。相談援助活動が精神保健福祉法とどのように関連しているか、その組織や機関などの専門職を理解します。また、地域で生活するための場の確保や、近年大きく変化している障害者の就労・雇用支援の体制とその現状について学びます。

■到達目標

- 1) 国際生活機能分類について、改正の背景と意義を説明できる。
- 2) 精神障害者の生活支援の意義と特徴を説明できる。
- 3) 精神障害者の就労支援に関する制度と施策を説明できる。

■教科書（「精神保健福祉のサービス」「精神保健福祉の制度」と共通）

精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集『精神保健福祉士養成セミナー6（第6版）精神保健福祉の制度・サービスと生活支援システム』へるす出版、2017年 第4・5章（改訂新版でも可）

（最近の教科書変更時期）2017年4月

※「精神保健福祉のサービス」で配本のため、この科目での教科書配本はありません。

（スクーリング時の教科書）上記教科書を参考程度に使用します。旧版を所持している場合も受講に支障がないよう資料を配付します。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価50%+スクーリング評価 or 科目修了試験50%

■参考文献

教科書記載の参考図書を読まれることをおすすめします。

■履修登録条件

この科目は「精神保健福祉のサービス」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録をする方のみが履修登録できます。

スクーリング

■スクーリングで学んで欲しいこと

精神保健福祉士の基本的な視点である、障害の概念や基本的人権について理解するとともに、精神障害者を取り巻く社会状況や諸制度について外観し、“精神障害者と地域生活”についての具体的なイメージを各自がしっかりと持つことを目標とします。

本講義を通じて、精神保健福祉士として精神障害者の地域生活支援を現実の職業課題として認識する“当事者意識”の醸成を図ります。そのため受講生は受け身ではなく、主体的に講義に参加することを期待しています。

■講義内容

回数	テーマ	内容
1	精神障害者の概念	精神障害者の概念の整理と理解
2	精神障害者の生活の実際	各種統計や調査データから見える生活実態
3	精神障害者の生活と人権	生活概念の整理と基本的人権と人権擁護
4	居住支援について	居住支援制度と他国の取り組み状況
5	就労支援について	雇用・就労支援の近年の動向
6	行政における相談援助体制	行政における相談援助システムの概要と実際
7	地域生活支援システムの実際	自立と社会参加の視点に基づく地域生活支援
8	精神障害者の生活支援のまとめ	生活支援システムにおける精神保健福祉士の役割
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

講義は、配布資料とともに、身近な新聞記事や DVD 等の視聴覚教材を用いて、より具体的なイメージを持てるよう配慮しながら展開します。途中でグループワークを実施し、精神障害者の地域生活支援に対する課題や自身の考え方を整理するとともに、他受講生との関連な意見交換を行います。

■スクーリング 評価基準

評価は、スクーリング最後の試験（配布資料、自筆ノート持込可）だけでなく、グループワークへの参加態度も勘案し、総合的に評価します。将来精神保健福祉士を目指す立場から、主体的な授業参加を期待します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

事前にテキストを通読していることをお勧めします。

精神障害者の人権と、その史的変遷について、事前に全体像を把握しておくことが望ましい。

レポート学習

■在宅学習 8 のポイント

回数	テーマ	学習内容・キーワード	学びのポイント
1	精神障害者の概念 (第4章)	人権・障害の普遍性、精神障害の特性と「障害」の概念、精神障害者の生活と人権 キーワード：合理的配慮、ICF、ICIDH、社会的障壁	人としての普遍性、精神障害の特性を踏まえ、「合理的配慮」とは何かを考える。
2	精神障害者の生活の実際① (第5章)	障害者の実態把握の難しさ、自治体等による障害者（保健）福祉に関するアンケート結果から、家族の調査からみえてくること キーワード：支援者、制度	精神障害者の現状や家族支援を理解する。 生活支援の理念を考える。
3	精神障害者の生活の実際② (第5章)	地域における精神障害者の人権 キーワード：負の側面、偏見・差別、環境整備	精神障害者の人権を考える。
4	精神障害者の居住支援 (第5章)	居住における近年の動向と課題 キーワード：ノーマライゼーション、障害者総合支援法	地域で生活する住居や生活の場の確保を説明できるようにする。
5	精神障害者と雇用・就労① (第5章)	就労支援にかかわる機関と連携 キーワード：障害者の雇用の促進等に関する法律	障害者雇用の制度と労働保険について説明できるようにする。
6	精神障害者と雇用・就労② (第5章)	就労支援の実際 キーワード：障害者総合支援法、就労支援	就労支援の近年の動向を説明できるようにする。
7	精神障害者の生活支援システム① (第5章)	自立と社会参加 キーワード：精神科ソーシャルワーカー	生活支援の基本的な考え方を踏まえ、その意義と特徴について説明できるようにする。
8	精神障害者の生活支援システム② (第5章)	制度としての地域生活支援システム、障害者ケアマネジメント キーワード：地域生活支援事業	生活支援の制度を把握し、精神保健福祉士がそれをどのように活用していくかを考える。

■レポート課題

※課題は1,900字以上で記述してください（ワープロ・パソコン印字での提出が可能になりました）。

1 単位め	地域移行・地域定着事業について述べ、生活支援を行うにあたっての基本的理念や主な政策を述べなさい。
-------	--

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

■アドバイス

レポート作成の留意点

- ①教科書を熟読し、内容を深め理解することに努めて下さい。また、必要に応じ、教科書記載の参考書を読むことにより一層の理解に繋がります。
- ②教科書の内容を写すのではなく、各自の言葉で記載することに努めてください。
- ③参考・引用文献は教科書も含めて3つ以上はレポートに出典明示するようにお願いします。

1 単位め
アドバイス

テキスト4・5章を読み、精神障害者の統計や実態調査を概観し、あわせて地域生活支援に対する自分の考えも述べることが求められています。

科目修了試験

■評価基準

『レポート課題集』本科目全体の内容についての理解を問います。

問題の題意に適しているかどうかを問います。

解答字数は、800字以上を基準といたします。